

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和4年度第2回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	令和4年10月20日(木)		
開催場所	小金井市野川クリーンセンター		
出席者	委員	<出席者：10名> 渡辺会長・岡山委員・溝入委員・岸野委員・土屋委員・橋本委員・林委員・齋藤委員・石原委員・續木委員  <欠席者：4名> 大関委員・黒須委員・清家委員・堀越委員	
	事務局	今井ごみ対策課長・鈴木ごみ処理施設担当課長・府川減量推進係長・高田清掃係長・八方主査・高橋施設係長・高花	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 2 報 告 3 議 題 令和5年度一般廃棄物処理計画について（諮問） 4 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	これより令和4年度第2回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。 では、配付資料について事務局に説明を求める。
府川減量推進係長	(配付資料確認)
渡辺会長	前回、令和4年度第1回審議会の会議録について、意見・修正があれば申し出ていただきたい。 特になければ、事務局にて公開手続きに入る。 次に、報告について事務局から説明を求める。
府川減量推進係長	(「報告事項」について説明)
渡辺会長	ちなみに食品ロス削減推進協力店は何店舗くらいあるのか。
府川減量推進係長	現時点では16店舗である。 まずは限定的な実証実験としており、食品ロス削減推進協力店の中でも食品ロスマッチングサービス「小金井かめスケ」に登録していただいたのが、現在3事業所となっている。今後、一定の成果があるという判断になれば、本格実施として広げていきたいと考えている。
渡辺会長	ウォータースタンドは水道に直結ということだが、フィルターをかけるということだと、定期的なメンテナンスは必要になるのか。もしメンテナンス費用が無償ということであれば、ウォータースタンド株式会社側としては、採算度外視ということになるがいかがか。
府川減量推進係長	半年に1回、無償でのメンテナンスを実施していただく。 今回の事業では、水道代は各施設の負担となるが、それ以外は、基本的に市の負担はない。そのかわり機種は限られており、冷温水の機能はなく常温のみである。
今井ごみ対策課長	ウォータースタンド株式会社と連携協定を締結しているが、その中で、市の役割として市内事業者への給水機設置の普及促進の働きかけを行うことが定められているため、今後給水スポ

(審議過程) 主な発言等

林委員	<p>ットの拡大を図っていこうと考えている。</p> <p>以前から申し上げているが、ウォータースタンドに排水設備がないので、水が流せない。これは、問題だと思っている。</p> <p>来年度の施策の中に、これを拡大するようなことが書いてあるが、本当にそのまま拡大するのか。今回は多少試行ということで、利用者の状況を見て改善が必要かどうかを考えるという余地はないのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>実際の運用としては、現在排水はご遠慮いただいているが、市の施設によっては、排水溝に直結して設置しているところもある。運用として、そのあたりが許容できる範囲に落ち着けば、排水も可能になる部分はあるかと思うが、やはり排水のつまりの可能性もあり、こういったところも含めて考えていく必要がある。今回、利用環境を整備させていただく中で、まずは設置を優先させていただいて、運用の部分については今後の課題とさせていただきたい。</p>
岡山副会長	<p>ウォータースタンド株式会社や他の会社でも、あらゆる自治体や大学と実験のようなこともたくさん実施している。これに関しては、あくまでも飲み物がなくなったあとで、ペットボトルを買うのを回避するという意味であり、マイボトル推奨のためだけのものである。それならば、充填することだけに特化していても良いのではないか。ちなみに、私の大学では、たとえ水であったとしても、こぼすかもしれないということで設置は許可されていない。</p>
林委員	<p>今までの世の中の実績で、それが普及している、できるんだ、ということであれば、良いかもしれない。</p>
橋本委員	<p>「小金井カメすけ」がとても良いと思い登録して確認してみたが、現在登録されている店舗が3店舗だった。「お店で購入」となっているが、これは登録した地域で出品された商品だけが購入できるのか。何かメリットがあるなら教えていただきたい。</p>

(審議過程) 主な発言等

今井ごみ対策課長	<p>「小金井カメすけ」の機能とすると、小金井市に登録されている店舗以外に20km圏内と、全国区のものを見ていただくことができる。やはり、地域経済活性化の意味合いも含め、直接店舗に伺って購入していただく仕組みになっている。</p> <p>自分専用のアカウントを取得すると、マイページが作成されるため、何グラムの削減が達成されたかを確認していただくことができる。同様に、事業者側でも、何グラムの事業系廃棄物を削減したか確認することができる。そういった成果の可視化もモチベーションにつながるのではないかと考えている。</p>
橋本委員	<p>難しいかもしれないが、駅前イベントのようなことをして宣伝すると良いのではないかと。若者が紙ベース以外で情報を得ることができるような宣伝方法を見つけていただきたい。</p>
渡辺会長	<p>自分のお店に来てもらう効果もあるところからすると、通常であれば、自分のところで割引して売るものをここに出品することになるので、取り引きされたものが全て事業系の食品ロス削減量になるかというところ、そこは少し過大評価になるような感じがした。</p>
溝入委員	<p>削減量が事業者と個人にわかるということだが、事業者の分が数字として出てくるのは良いが、個人の分は、出してはいけないのではないかと。</p> <p>民間業者が入ってくると、比較的情報漏洩しやすくなるので、情報管理はきちんとされているのか。</p> <p>10月から開始ということで、まだ2～3週間ほどであるが、実際にどのくらいの取引が行われているのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>現状では、まだ出品されていない。やはり、出品していただいて、効果を実感していただきたいので、もう少し力を入れて周知していきたいと考えている。</p> <p>個人情報については、利用に際してはサイトの利用規約の中で一定の同意をいただくことが前提となっている。</p> <p>また、個人情報の扱いについてだが、マイページの情報は市側に提供されることはない。会社側も、あくまで管理体制の中でセキュリティーの部分だけを携わっているのみで、そのデー</p>

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	タを見ることはないということは、確認を取っている。基本的には、クラウドサービスのため、クラウド側との利用規約などで一定の担保は得ている。
鈴木ごみ処理施設担当課長	それでは、引き続き清掃関連施設整備事業について報告を求める  (「報告事項」について説明)
渡辺会長	事務局からの報告に対して意見・質問はあるか。ないようなので議題に入る。 本日の審議会では、「令和5年度一般廃棄物処理計画」についての諮問を受けることになっている。後ほど事務局から説明があるが、まず始めに諮問を受けたいと思う。
府川減量推進係長	本来ならば市長からお渡ししなければならないが、公務の関係で代理として今井ごみ対策課長より諮問書をお渡しする。
今井ごみ対策課長	(諮問書受け渡し)
渡辺会長	それでは、事務局に説明を求める。
今井ごみ対策課長	新型コロナウイルス感染症の確認が発表されて以降、感染拡大とそれに伴う感染予防という重大な社会情勢の変化は、廃棄物行政にも多大な影響を及ぼしており、感染拡大防止に向けた取組には依然として関心が高い状況にある。 現在、新しい生活様式が定着してきており、今後、コロナ禍が終息したとしても以前の生活に戻るとは限らず、現状の廃棄物発生状況が継続的なものとなるかどうか、非常に見極めが難しいことから、令和5年度の処理計画における推計値は空欄としており、年内の実績値を踏まえて算出する予定である。 一方で、国や都では、感染症防止と経済活動の両立を図る取組も進み始めている。そのため、令和2年度以降、休止または中止となっている施策を再開することも見込み、令和5年度の施策は、それらを踏まえたものとしている。 引き続き減量推進係長より内容の説明をさせていただきます。

(審議過程) 主な発言等

府川減量推進係長	(「令和5年度一般廃棄物処理計画(案)」について説明)
今井ごみ対策課長	現時点でわかっている訂正箇所をお伝えする。 湖南衛生組合の加入市が増えることになり、現在協議が進んでいるため、P30に記載されている構成市を、5市から7市に訂正させていただく予定である。
渡辺会長	事務局からの説明に対して意見・質問はあるか。
林委員	一般廃棄物処理計画は、昨年ごろから定型化している。 例えば、PDCAについて、コロナ禍の前に評価方法をどうするか議論があつて、やり方が変わってきたが、今回の資料を見ると、PDCAについての議論は終了したように見える。 また、冒頭で前年の報告と来年度の計画があるが、例えば前年度を報告する表中で、報告であるにも関わらず「具体的な取組」ではなく「具体的な取組 例」となっている。 さらに、年度の活動目標については、特に一昨年から昨年にかけてコロナ禍の影響で集まって作業をすることはできなかったから、年度の目標といったことは書かずに、具体的に何をやったかということだけ書きましょう、としてまとめている。 であれば、今回のこの部分は、年度の活動目標ではなく、結果を記載するべきで、昨年、直したのだから、今年もそうしなければならぬはずである。 例えば、重点と謳って、かつ回数を増やそうというようなことを目標にした活動であれば、どれくらい増えたかとか、増えなかったとか、そういったフィードバックをかける必要があるのではないか。 何年も同じような文言が書かれているが、それを少しでも前進させるための施策評価をしていただいたほうが良い。
渡辺会長	確かに、前年度のことに関しては、結果や成果といった形で書いた方が良い。
林委員	今回、いろいろと新しい施策をやったということを目玉にするのであれば、残りは、ごみを減らすように分別を徹底してください、といったことだけで良い。あまり細かく重点だなどと

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	<p>項目分けをしたり、こういった資料を作る必要はないような気がする。</p> <p>表を見てわかるような形にすると、一番良いのではないかと思う。</p>
林委員	<p>重点項目としたのであれば、それについて実施したことを書くべきで、項目が多すぎて無理だというのであれば、項目数を減らすべきである。数を絞って少しずつ前進させても良いが、特に喫緊の課題はこういったことがあるので、来年度はこれを重点的にやりましょう、として頂ければそれで良い。</p>
今井ごみ対策課長	<p>ご指摘のあったP 5 から P 7 までの年度の活動目標については、前年度最終的にまとめた部分の枠を含めて訂正させていただく。</p> <p>評価については、市の行財政改革推進等調査特別委員会というところで事務事業評価手法というのがここで固まってきた。そこに、ごみ処理基本計画に記載されている項目について、各年度で重点をおいているものを抽出して提出している。そのシートが機能するまでにもう少し時間がかかると思うが、そういった作業進捗も含めて、皆さんにお示しできるようなものを整理したい。</p>
渡辺会長	<p>他に何かあるか。</p>
岡山副会長	<p>環境教育のところで、学校でどれくらい出前講座をやったとなっている。以前は、出前講座の予定回数を計画し、結果は何回だった、という定量的な評価だった。しかしそういったことに評価をつけて良いのかということもあって、評価をしなくなったと考えている。</p> <p>しかし、子ども向けの副読本はとても良かったと思うが記載していない。やったことで評価したほうが良いことはたくさんあるのだから、やったことは載せた方がよい。</p> <p>それから、P 1 6 の普及啓発で、「(5) の施策の見える化」は比較的重点的な施策だと思うが、その啓発の強化において、(仮称) くるカメ給食を進めるべきである。せつかく生ごみをリ</p>

(審議過程) 主な発言等

<p>溝入委員</p>	<p>サイクル堆肥にしているのだから、それを利用して作られた野菜を給食に戻すという循環の取り組みを、「これがくるカメ給食ですよ」と見える化してあげることで、生ごみの分別・リサイクルがなぜ重要かなのかがわかるということ、ずっともったいたいと思っていた。返ってくるのがわからないから分別するインセンティブも少なくなってくると捉えていた。重点になっているので、これを具体的に進めてもらえるといいと思っている。</p> <p>行政が作る表というのは、あらゆる項目が絶対に取りこぼしのないように細かくあげるのが原則であるため、どうしてもこのようにならざるを得ない。そうすると、今度はそれを評価するときに、同程度なのか、重きを置くものなのかがわからないために「充実」「強化」といった表現をするが、そういった言葉の違いについても考えようとするし、そうしたときに、今年は何をするか言われると、また同じようなことを書かざるを得ない。</p> <p>せっきく重点を実施するのであれば、市民にもアピールできるように、むしろそちらを細かく説明して、その他、ある程度項目だけ挙げて内容は省略することもやむを得ないのではないか。</p> <p>例えば、「1（1）食品ロス削減の推進」とある。これで年度の活動目標を見ると、「食品ロス対象ごみ量の把握」と書いてある。そうすると今年は何を把握するのか、では、来年は何をどうするのか、となるため、重点対応で今年は何を把握しますよ、来年以降は何を反映するように何かやりますよ、ということが書いてあれば良い。</p> <p>それに対して、例えば「1（4）ごみを出さないライフスタイルを推進するための啓発」、強化、年度の活動目標は「市民意識の向上」とある。市民意識の向上のために市は何をするかを書くべきであって、目標が市民意識の向上というのに意味はない。それであれば、わざわざ書くことないのではないか。</p> <p>そういった面での、表そのもののある程度考え方と整理は必要があるのではないかという気はする。</p>
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(審議過程) 主な発言等

府川減量推進係長	<p>見える化というところにおいては、特に令和2年度からコロナ禍の影響等があった中で、特に対面で施策の調整や実施が難しかったという現状がある。見える化について現在言えることとしてはもっと広報媒体等を活用した中で、例えば小金井市のごみの行方を紹介させていただいたり、あとはデジタルコンテンツというところで、新たに動画配信などを実施したということが言えるかと考えている。</p>
渡辺会長	<p>そういったことも具体的に入れることができると実施したということが良くわかる。</p>
林委員	<p>目標の立て方そのものを考えたほうが良い。例えば、「ごみ量の把握」というのは以前から記載しているが、どのように把握するのか、したのか、ということである。</p> <p>そういった具体的にある程度道筋を考えて、目標を立てるときは常に、それに向かって何をやるかということを念頭に作成してもらいたい。</p> <p>それから、ごみ対策課だけの話かどうか不明だが、小金井市の広報が非常に弱い。広報がどうやって市民に徹底できるかということである。基本計画にもあるが、アンケートを取った結果で事業を知らない人が結構多い。どうやって市民に広く周知できるかという観点からの取組をもっと力を入れていただきたい。</p>
渡辺会長	<p>市報などは、比較的ごみのトピックを踏まえた特集号を作るなどして頑張っているところはあるが、伝え切れていないところもある。情報に関しても、見える化と言うからには、いつも似たような内容ではなく有用な情報を掲載するなど、工夫の余地はありそうである。</p> <p>ツイッターや動画を配信していたというのも私もあまり自覚していなかったのも、やはりそういったことは処理計画を読まれる方はそんなにいないかもしれないが、こういうところに書くだけでも少しは変わってくるところはあると思う。</p>
今井ごみ対策課長	<p>広報の仕方というのは、創意工夫で何とかなるところもあるが、やはり予算とツールが限られているところがあるため、そ</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>こをどう活用していくかというところが1つ課題だと思っている。</p> <p>市がユーチューブの公式アカウントを取得したので、動画を作成して配信したり、ツイッターもアカウントを取得して定期的に配信している。それから、今回、注意喚起も含めて、ごみ減量啓発チラシに車両の火災発生の記事を載せた。リチウム電池などの混入は社会的な問題であることを改めてアピールしたり、少しずつコンテンツの中身を変えながら試している。</p> <p>それから、本日お配りしているチラシにはキャラクターが全面に押し出されたものとなっている。こういったものは今まで作成していなかったが、今回試したところ、チラシの配布が終わった直後に結構反響があった。「ゆづる輪」についても、こういうリユース事業はとても良いといったご意見もお寄せいただいた。</p> <p>少し色合いやデザインを変えて、載せた内容を少し変えただけで、結構反響が変わるんだなということを実感したところがある。今日いただいたご意見を踏まえながら、工夫できるところを工夫していきたい。</p>
橋本委員	<p>最近子供と一緒にユーチューブなどで小金井市のものを見せていただくようになってきているが、とてももったいないと思ったのが、環境楽習館の情報を知らなかった。1部屋しかない程度だと思っていたが、実際には建物1棟を持っていて、会議もできる場所があるくらい大きいということを知った。</p> <p>夏休みなどに子どもがイベントで学べる面白いことを、こちらでやらせようと思うかもしれない。学ばせようと思っても来ないと思うので、単に楽しい、そういう場所があるよというだけでも良いのではないか。貸し出しや、存在だけでも知ってもらうなど、知識を入れようとするだけじゃない楽しさを使って、いろいろアピールされると良いと思う。</p>
今井ごみ対策課長	<p>環境楽習館は、先日ごみ減量のキャラクターのぬいぐるみを使って、施設紹介動画を作って公開しており、環境部全体でお互いにアイデアを出し合ってた一つの成果かなと思っている。</p> <p>環境楽習館は、夏休みは空調関係に少し問題があるようで、</p>

(審議過程) 主な発言等

齋藤委員	<p>なかなか自由に開放できる状況になっていないようであるが、橋本委員からいただいたご意見も踏まえて、何かしら工夫はしていきたいと思う。</p> <p>先ほど、クリーンセンターのバスケットコートが普段使えるという説明があったが、それがどうやって使えるのかということが市報には載ってない。そういったことを若い人にお知らせすると、こういうものがあるというのが分かるのではないか。</p> <p>それから、3市市民会議の情報担当のグループに入らせていただいて、浅川清流組合の施設の見学を含めた冊子を3市合同で作る計画が出ているので、「小・中学校を対象とした環境教育の推進」のところに、浅川清流環境組合のごみ処理施設の見学も入れてもいいのではないか。</p>
鈴木ごみ処理施設担当課長	<p>バスケットコートに関しては、8月のオープンと同時に開放している。ここが稼働するときには、20人近くのバスケットをやっている小学生、中学生が開放を待ちわびた感じでここに集まっており、早速プレーを楽しんでいただいた。</p> <p>7時から17時までの間に関しては、自由に出入りができるようにしているが、土日や夜間に関しては施設が閉まっているため施錠させていただいている。</p>
齋藤委員	<p>この周辺の、お子さんたちは多分知っていると思うが、離れた地域の人たちはおそらく知らないと思う。でも、野川や武蔵野公園に遊びに来たときに、バスケットボールを持って、じゃあ、ついでにここで遊ぼうか、みたいなことはできるのではないかと思う。</p>
今井ごみ対策課長	<p>齋藤委員のご発言のとおり、3市ごみ減量市民会議の情報発信グループのほうで、小学校向けの施設見学者向け副読本を作ろうという話が進んでいる。ページ配分や記載内容といったものが既存のパンフレットとあまり重複しないようにしたほうがいいだろうというご意見が会議で出ており、そういったことを意識しながら作り込んでいこうというところである。</p> <p>おそらく小金井市にも何ページか配分されると思うので、そういったところにどういったものをコンテンツとして入れ込</p>

(審議過程) 主な発言等

鈴木ごみ処理施設担当課長	<p>んでいくか、会議体の中で方向性が確認されたものに沿って、場合によっては、本審議会のお力をお借りすることもあるのかなと思っているので、その際にご協力願いたい。</p>
	<p>我々もぜひ市内の子供たちに浅川の施設見学をしていただきたいということで、教育委員会と調整をさせていただいた。</p> <p>今のところ、来月、緑小学校と本町小学校2校の4年生が浅川に見学に行く予定となっている。</p>
林委員	<p>中間処理場の見学実績を以前に調べたが、それも非常に少なかった。熱心な先生がいるところに行ってもらえるような印象を受けた。市内の全校に声かけができると良い。そういう意味で市の職員が行って広報するという必要があるのではないかと。</p> <p>小金井の子供はみんな行ったことがあるぐらいの感じにしていたら良いと思う。</p>
渡辺会長	<p>中間処理場は本当にぎゅう詰めになっていて、なかなか見学するのが難しいという感じもするが、新しくできた施設は、見学ルートも整備されている。</p>
林委員	<p>しかし、中間処理場は手選別ラインなどがあって、袋を潰して、ああやって人が分けているんだ、というのをちょっと見るだけでも、すごく印象が違うと思う。</p> <p>そういう意味では、逆に言うと、コンパクトだからこそ、ちょっと1時間以内で行って帰ってくるができるぐらいの感じで、良かったのではないかと。</p>
岡山副会長	<p>小学校4年生は、必ずごみの施設あるいは下水処理施設の見学というのがある。そのため基本的には全ての小学生は、大体どちらか見ている。しかし、今の中間処理場はちょっと危なくて、小学生を大勢連れて入れる施設ではない。一方、最近の施設は整備されているので、小金井市の小学校については、今後はおそらくみんなバスで、日を分けて浅川に行くということになるのではないかと。</p>

(審議過程) 主な発言等

高橋施設係長	<p>今年度に関しては、二小の4年生が来月、こちらの野川クリーンセンターに見学にくる予定になっている。稼働前から二小の先生からお話があり、予約していただいた。確か4年生の1学期にそういったカリキュラムがあったかと思う。</p> <p>お話をいただいたときは、中間処理場が7月末まで稼働していたということもあり、今年は全小学校見学ができていないものの、二小の先生だけは熱心にお話をくださって、来月予約していただいている。</p>
今井ごみ対策課長	<p>少しずつ施設整備が進んできていることもあり、ある程度環境が整えば、見学の部分は力を入れていけるかなと思う。</p>
岡山副会長	<p>話が戻るが、5ページから後半の部分、今の時点で全く一緒になっている。例えば、令和4年度でも5年度でも「6の(3)」と「7の(6)」に「セブンイレブンと連携したペットボトル自動回収機設置の検討」がある。去年も検討していて、来年も検討としているが、進展はしていないのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>株式会社セブン-イレブンジャパンとは、ある程度話は進んでおり、実施の時期の目途も立ってきているところではあるが、まだ確定的にお伝えできる段階でないので、今現状はこういう記載しかできない。</p>
石原委員	<p>最初に事業所部会が直接株式会社セブン-イレブンジャパンに行ったのは、4、5年前になる。セブンイレブンとは、そのとき既に一緒にやりましようとなっており、当時の係長もやるということだった。目標を決めたら問題が出てくるのは当たり前だから、それを一つずつちゃんとクリアすれば何かできると思う。それで少しずつ、皆さんが進めていることが目に見えてこないというのは、せっかくやっているのに、途中で頓挫してしまうのは非常に良くないと思う。ペットボトルの話で言うと、最初に手を挙げたのは小金井市なのに、他市に抜かれてしまう。なぜ我々事業所部会がやろうとしたかという、やはり予算削減で、そのお金を教育なりどこかに回してもらえば良いと考えたからである。</p> <p>それから、別の話になるが、子どもたちが夏休み生ごみ投入</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山副会長	<p>でスタンプラリーを実施した。今年はバッグをもらうことになっていて、非常に評判が良かった。こういったこともやっているのだから、掲載したほうが良いと思う。</p> <p>令和4年度の実績の4ページのところはもっとたくさん書いていいと思う。ウォータースタンドのことも、もともとのところにはあまり具体的には書いていない。おそらくマイボトルの促進になるから「1(3)」なんだと思うが、ここには具体的な社名といったことも一切入っておらず、これは実績としてやりましたとなっている。例えば、令和4年度で13か所つけます、次の展開として、令和5年度の計画では、マイボトルの普及を強化するとか推進しますとか、そういった目標で書かれているほうがつながりがあるし、ステップアップしていく感じもよく分かる。</p> <p>セブンイレブンだけは、具体的な社名が入っている。これは、例えば、コンビニエンスストアに変えたほうが良いのではないかと思う。マイボトルのことは、実績としてまたできてきたら、今度はこことボトルを作りました、というようなことが、令和5年度の実績で書かれていくという流れであると良い。</p> <p>食品ロス削減も、基本的には発生抑制であるため、できるだけ全部食べ切るというのが、事業所でも家庭でもということになり、それと関係するのが事業活動の3Rなので、7番の(5)になる。このところには、食品ロスの削減推進協力店が今16店舗ということで、これは引き続き強化していますという目標になるのはわかるが、食品ロスの削減を重点課題としている一方で、ここは強化になっている。だから、その辺は連動しても良いのではないかと思う。</p> <p>最初に基本計画を立てたときには、ものすごい数の施策があった。例えば食品ロスという1つの施策に4つぐらい普及啓発が入ってくる、という形で重層的になっていたが、どこかのタイミングでそれを減らして、整理して、今この形になっている。だから、今でもまだ当然重複はあると思う。それでもここまで整理されたのは、私は良いのではないかと考えている。ただ、整理され過ぎてしまって、やったことが表現できてないのが、少し残念である。</p>
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(審議過程) 主な発言等

今井ごみ対策課長	<p>表については、いただいたご意見を踏まえ、もう一度考えてみたい。それから、令和4年度の実績の部分、表現は考えたいと思うが、令和5年度の方は予算編成と同時進行で動いており、予算が施策の実現につながってしまうところがあるので、そこは幅広い表現にならざるを得ないというところをご理解いただきたい。とりあえず4年度の実績については、表現できるように考えたい。</p>
渡辺会長	<p>先ほどあったように、特にこの取組表、5年の計画のところ、あえてセブンイレブンを入れず、「コンビニと」が良いと思う。4年のところでは、今年はセブンイレブンと交渉しました、というのは実績として良いかなという感じはする。</p> <p>それから、食品ロス削減の推進のところで、活動目標が「ごみ量の把握」ということになっているので、それにかみ合うような取組を挙げないといけないという感じがする。組成調査もやっており、全くやっていないわけではないので、活動目標と取組例がかみ合わないのも避けたいと思う。</p>
岡山副会長	<p>本当に「1(1)」というのは重点で、とても重要なこととして捉えられている。「小金井カメすけ」やりました、食品ロス推進協力店をやっていますという、この2つの事業をさらに進めていく。これは、両方とも定量的に増減が分かるので、非常に評価しやすいのではないかと思います。</p>
橋本委員	<p>この諮問を今日いただいたが、答申はいつ出す予定で、予算とのスケジュールとの兼ね合いがどうなっているか。先ほど、行政としては不確実なものは載せられないというのはもっともだと思うが、予算よりこの答申が後に出せるのであれば、一応載せておいて、後で削除する、ということができるのではないか。私たちとしてはせつかく審議をするから、新しくこんなことも入れていければ良いのではないか、ということ発言しても良いのかどうかということをお教えいただきたい。</p>
今井ごみ対策課長	<p>答申は2月から3月にかけていただこうと考えている。</p> <p>予算編成がどういう動きかという、もう既に今月末に予算の要求の見積り、要求の締め切りがある。現在市長が不在であ</p>

(審議過程) 主な発言等

岸野委員	<p>ることから、申し訳ないが、予算編成のスケジュールについてはお答えするのは難しい。</p> <p>いただいている御意見を踏まえつつ予算要求はさせていただいているが、その歳費の部分に関しては、やはり他の施策との兼ね合いもあるのでどうしても難しいものとなっている。</p> <p>今年から市報ごみ特集号が4回から3回になると聞いたが、その浮いた分が、資料集といったものに回るのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>事業ごとに予算枠が決まっているわけではなく、予算はやはり税収と財源があつてのものである。その部分はごみ対策課で判断できるところではないが、市の財政状況などを勘案しながら、施策を練らなければならない。今回も、諮問させていただいて、施策がいろいろ出てくると思うが、その施策の部分で、今の市の方向性や政策の重点の置き方、そういったところでどこまで形を変えさせていただくことができるのかも踏まえて、しっかり整理していければと考えている。</p>
石原委員	<p>3ページで、平成29年から令和3年までの排出量が出ているが、小金井市の人口は、この間にどのぐらい増えているのか、もし分かれば教えていただきたい。小金井市の1人当たりの生ごみの量はトップクラスだったが、今はどうなっているのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>令和2年度は全国と同規模の自治体で、ごみ排出量の少ない方から3番目となっている。</p>
渡辺会長	<p>コロナで一般廃棄物が増えたことと、浅川で事業系を受け入れるようになったので増えているというところだと思う。</p>
岡山副会長	<p>生ごみをなぜ回収するのかといったときに、それが結果的に堆肥になって、農業に役に立って、その役割が戻ってくるというのを、小学生は特に給食で知る機会を得るのはすごく重要だし、小金井市はそれが既に実際にある。それならば、それを見える化してしまえば良だけの話なので、そんなに難しい話だと私は思っていないが、おそらく、いろいろな関係者がいらっしゃって、やはり慎重に議論をして進めるべきことだと思って</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>いる。例えば、その予算が「4(5)」の見える化のところにつけられないのであれば、17ページにある「8(2)」が調査研究を一応実施できることになっているので、ここに、循環型給食の実施に向けた検討会を実施する、というようなことを、織り込んで予算請求してもらうことは可能なのか。</p>
府川減量推進係長	ここは検討で預からせていただく。
續木委員	私も食品ロス削減推進協力店を自分の町内会から出したいと思っているが、その項目が、2項目当てはまるところが難しい。1項目でも入ってもらい、そういうお店が増えたほうが良いのではないか。市民としては、そのお店を選択することで、自分もごみ減量に参加しているという参加意識を向上できるのではないかと思う。お店の人が食べ残しをしないでくださいと訴えろとか、そういったことは、結構厳しいのではないかと思う。
事務局	小盛などは、たいていのお店でもやっていることなので、それ以外のことを何かしていれば、だいたい「その他」とすることが出来る。いまのところは、あまりメリットがないので、加入をためられるところが多いのだと思うが、推薦していただければ、こちらから店舗に連絡して、もう一つ何か要件に当てはまることを見つけることもできるので、ぜひ推薦していただきたい。
續木委員	私も、橋本委員や齋藤委員と同じように、関係ないと思っていた方が自分も関係あると思ってもらえれば良いと思う。
渡辺会長	それでは、以上をもって審議会を終了する。